

# 第5次レッドデータブック： 絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

## ベニバナヤマシャクヤク

*Paeonia obovata*

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. ベニバナヤマシャクヤク. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Paeonia obovata* Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

被子植物門 Angiospermae ボタン科 Paeoniaceae

# ベニバナヤマシャクヤク

*Paeonia obovata*

カテゴリー判定結果 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

基準 D

推定開花株数が 1000 個体未満。

評価分科会： 維管束植物分科会

## 基礎情報

### 【形態】

根茎は径 1 cm になり、水平に伸びる。茎の高さは 30-60 cm。中部の葉は葉柄を含んで長さ 12-38 cm、2 回 3 出複葉で 2-3 個付き、上部の葉は 3 全裂～単葉、葉の下面はふつう伏毛が密生するが時に無毛。花弁は淡紅紫色、ふつう 5 枚つき、雌蕊は 3-5 個で柱頭は強く反曲する。葉が無毛のものをケナシベニバナシャクヤク f. *glabra* (Makino) Kitam. として区別することがある。

### 【生活史】

多年草。花期は 5-6 月。

### 【生育環境】

夏緑広葉樹林の林床に生育する。

### 【分布域】

南千島・北海道・本州・四国・九州、朝鮮半島・中国・サハリン・ロシア沿海地方。

## 現在の生育状況

### 【生育地の現況】

2018 年調査では 28 メッシュで計数千個体の現存が推定されたが、個体数を過大に推定していると考えられる。基準 D により VU とした。

## 現地調査の集計結果

2018 年調査

### 【「現存する株数」別のメッシュ数】

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
13	8	2	5	0	0	28	0	4

### 【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1 番目	2 番目	3 番目
要因 園芸採取	自然遷移	管理放棄

件数		
21	4	2

## 特記事項

特になし

## 旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>	VU
第4次 2019:	ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>	VU
第4次 2018:	ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>	VU
第4次 2017:	ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>	VU
第4次 2015:	ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>	VU
第4次:	ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>	VU
第3次:	ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>	VU
第2次:	ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>	EN
第1次:	—	—	—

## 都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

北海道[絶滅危惧種(En)] 青森県[最重要希少野生生物(A ランク)] 岩手県[A ランク] 宮城県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)] 山形県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 福島県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 茨城県[絶滅危惧ⅠB類] 栃木県[絶滅危惧Ⅰ類(A ランク)] 群馬県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 埼玉県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 東京都(本土部)[本土部:絶滅危惧ⅠB類(EN)] 東京都(南多摩)[絶滅危惧ⅠB類(EN)] 東京都(西多摩)[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 神奈川県[絶滅危惧ⅠB類(EN)] 新潟県[絶滅危惧Ⅰ類(EN)] 富山県[絶滅危惧Ⅰ類] 石川県[絶滅危惧Ⅰ類(CR)] 山梨県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 長野県[絶滅危惧ⅠB類(EN)] 岐阜県[情報不足] 静岡県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 愛知県[絶滅危惧ⅠB類(EN)] 三重県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 滋賀県[絶滅危惧種] 京都府[絶滅寸前種] 大阪府[CR+EN] 兵庫県[B ランク] 奈良県[絶滅寸前種] 鳥取県[絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)] 島根県[絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)] 岡山県[絶滅危惧Ⅰ類] 広島県[絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)] 山口県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 徳島県[絶滅危惧ⅠB類] 香川県[絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)] 愛媛県[絶滅危惧ⅠB類(EN)] 高知県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 熊本県[絶滅危惧ⅠA類(CR)] 宮崎県[絶滅危惧ⅠA類(CR-r)]

## 保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

## 参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2016. 改訂新版日本の野生植物 2. 381pp., 256pls. 平凡社，東京.

## アセスメントサマリー（Assessment summary）

*Paeonia obovata* has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Paeonia obovata* is listed as VU under criteria D.

D. Population size estimated to number fewer than 1,000 mature individuals.

Threat types:	Collecting plants in gardening, Natural succession, Abandonment of management
Law designation status for conservation	—

執筆者: 日本植物分類学会  
Author: Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025 年 3 月